

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897

97

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

- 大蔵省
- 外務省
- 農林省
- 文部省
- 逓信省
- 建設省
- 防衛省
- 警察庁
- 法制局
- 内閣府
- 国庫院
- 官庁舎
- 国会事務局
- 国会議員事務所
- 議員秘書
- 議員事務員
- 議員秘書
- 議員事務員
- 議員秘書
- 議員事務員

電信写

総番号 (T.A) 40814
 69年9月12日23時15分 米田 主管
 69年9月13日12時43分 本省 米田

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・国務長官会談

第2857号 特秘 大至急

往電第2820号に関し、

12日午さん会 (別途電報する) に続いて14:50より16:00までの会議概要次のとおり。(当方本使、タナカ大使、トウゴウ、アカタニ、チバ、先方ジョンソン次官、グリーン次官補、マイヤー大使、スナイダー公使、フィン部長列席) 長時間にわたり種々議論したが極めて友好的ふん囲気に終始した。

1. わが方提案 (韓、台、越、核)
 大臣より11日の米側修正提案 (冒頭往電2. の文書を手直ししたもの) を受けて立案した韓国、台湾、ヴィエトナム及び核問題に関するわが方新提案 (夫々別電1. 2. 3. 4. のとおり) を説明せるところ。長官は本日たとえ同意はしてもすべて大統領へAD REFERENDUMの前提においてである。(当方より日本側も同様なりと発言) と前置きの上。(イ) 韓国についてはPOSITIVE AND PROMPTという文言はよいが、総領事 発言に入

- ア 参地中東
- 北 参北西
- 北 参北保
- 中 参中南
- 参西東洋
- 西 参西東
- 近 参近ア
- 参総経国万
- 参資統
- 参政技二
- 参政経科
- 参道内外
- 参道内外

外務省

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

電信写

れるかコミニケに入れるかの点は留保したい旨。(ロ) 台湾については韓国と同じ文言としないことの必要性は理解した旨を述べつつ、(ハ) ヴイエトナムについては大統領の声明という考え方に強い難しよくを示し、下記の如き議論に発展した。なお(ニ) 核に関しては大臣よりこの案について長官の御理解をお願いすることにとどめたい旨述べたのに対し、わらいながらエルサレムの将来とオキナワの核兵器は自分としても回避する話題である、と発言し、また大統領と核につきまだ長時間をかけて話し合ったことはない旨明らかにした。

2. ヴイエトナム
 長官より日本側の総領事発言案の文言はよいが、大統領の声明案の意味自体がわかり難い上に、なぜわざわざコミニケと別のしかも誤解を与え易いものが必要かは自分にも分らず、議会方面から無用のじゃ推を受けることとなるので反対なる旨力説し、ジョンソン次官からも実質へは返かん時までの継続の場合日本としてはオキナワからの米軍事行動を認め、返かん延期かの2者択一である。(大臣より自分としては後者をとらない旨発言) と指摘の上、CLEAR CUTな表現でなければならないほど議会の支持を得られなくなると述べた。これに対し大臣より種々説明せらるち、総領事。大統領両発言をコミニケに統合する案を考慮してみる旨述べた。

外務省

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

3. コミュニケーター本の問題

(1) 長官より交渉に当つて自分としては秘密取り決めに極力避けること(大臣より同感を表明)及びコミュニケーター本で行くことを本旨としてきたが、なぜ韓国、台湾についても総理大臣発言等を必要とするのか。議会方面からみれば「日本側が本気でないからコミュニケで書いたことを発言で言いかえて了うのだ」という批判が出て来ることは必至であるところかえし述べ、同席の米側よりも発言の後継内閣に対するこう束性に問題があることを指摘した。

(2) これに対し大臣より従来交渉経緯を想起しつつ、総理がコミュニケ発表直後ワシントンから日本国民へのメッセージを發し(注:午さん会の際米側質問に答え全くの私見として大臣が述べた点)安保条約運営の政策を表明することの補完的効果の大なること、コミュニケでは日米の合意となることより生起する国内政治上の難問題を回避し得ること、後継内閣をしぼる効果は十分あること等を説明の上、せつかく関係者が本日までく心を傾けた韓国、台湾の発言案を十分に理解してほしい旨要望した。

(3) 米側からも同趣旨の補足説明あり、「ロ」長官もやがてまだよく分つた訳ではないが、日米が政治的に互いに助け合うことが大事であり、今までの合意をPSBTしたくないので一応同意しよう、ただし十分検討させてほ

外務省

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

いと述べ大臣に承した。(後刻先方よりの連絡によれば長官の指示にて米側も主としてヴィエトナムに関し案文作成にとりかかり、明/3日アメリカ局長等と話し合いの上/5日にアドヴァンス・コピーを当方に手交し、ニューヨークにおいて長官、大臣間で協議検討することとなつた由)。

4. その他

(1) 長官より返かんに伴なう財政面(別途電報)及び在オキナワV.O.A中継施設の活動継続(「ス」公使より極めて重要かつ高価な施設であり、ぜひ他国との間の如き取り決めによりこれを継続せしめたいと補足)にふれたのち、経済特にせん維問題に言及した。

大臣より明朝求めによりスタンス商務長官を往訪するのでせん維につき話をするのはまだ早いと思う旨、及び自由化については自分もその促進に出来る限り誠意を以つて當つている旨を述べた。

(2) プレス対策に関しては協議の結果別電5.の大臣説明ぶりを了承した。なお総理訪米時期(別途電報)の発表については長官が自らホワイト・ハウスに照会して同意を取付けた。

(1)

外務省

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政外務省
事務次長
官審容長
備文会官給

総人電厚計
参調析企
参領旅移

総番号(TA) 40616
69年9月12日 23時40分 米 国 省 署 長
69年9月13日 12時46分 本 省 署 長
外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・國務長官会談 (韓国)

才2861号 (特秘) 大至急
往電才2857号別電1.

KOREA

(PRIME MINISTER'S STATEMENT)

THEREFORE, SHOULD AN OCCASION RISE FOR THE U.S. FORCES IN SUCH AN EVENTUALITY TO USE FACILITIES AND AREAS IN JAPAN AS BASES FOR MILITARY COMBAT OPERATIONS TO MEET THE ARMED ATTACK, THE POLICY OF THE JAPANESE GOVERNMENT TOWARDS PRIOR CONSULTATION WOULD BE TO DECIDE ITS POSITION POSITIVELY AND PROMPTLY ON THE BASIS OF THE FOREGOING RECOGNITION.

(3)

外務省

中東
北東
北保
中南
西東
参書近ア
次総経國万
参實統國
参政技二
國一理
参案協規
参政経科
軍社専
参道内外
一二

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政外務省
事務次長
官審容長
備文会官給

総人電厚計
参調析企
参領旅移

総番号(TA) 50617
69年9月13日 00時00分 米 国 省 署 長
69年9月13日 13時03分 本 省 署 長
外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・國務長官会談

才之862号 特秘 大至急
往電才2857号別電2.

TAIWAN

A. (COMMUNIQUE)

才之項末尾に次の1文を加える(9月11日台湾に関する米提案の文章を置きかえらる)。

(以下英文別紙の通り)

中東
北東
北保
中南
西東
参書近ア
次総経國万
参實統國
参政技二
國一理
参案協規
参政経科
軍社専
参道内外
一二

外務省

THE PRIME MINISTER AGREED THAT THE U.S. SHOULD BE IN A POSITION TO DISCHARGE EFFECTIVELY ITS INTERNATIONAL OBLIGATIONS FOR THE DEFENSE OF COUNTRIES IN THE FAR EAST INCLUDING JAPAN.

B. (PRIME MINISTER'S STATEMENT)

THE MAINTENANCE OF PEACE AND SECURITY IN THE TAIWAN AREA IS ALSO AN IMPORTANT FACTOR FOR THE SECURITY OF JAPAN. I BELIEVE IN THIS REGARD THAT THE DETERMINATION OF THE UNITED STATES TO UPHOLD HER TREATY COMMITMENTS TO THE REPUBLIC OF CHINA SHOULD BE FULLY APPRECIATED. SHOULD A SITUATION EVER OCCUR IN WHICH THESE TREATY COMMITMENTS WOULD ACTUALLY HAVE TO BE INVOKED AGAINST AN ARMED ATTACK FROM OUTSIDE, IT WOULD BE A THREAT TO THE PEACE AND SECURITY OF THE FAR EAST INCLUDING JAPAN. THEREFORE, IN VIEW OF OUR NATIONAL INTEREST, WE SHOULD DEAL WITH THE SITUATION ON THE BASIS OF THE FOREGOING RECOGNITION, IN CONNECTION WITH THE FULFILLMENT BY THE U.S. OF ITS DEFENSE OBLIGATIONS. HOWEVER, I AM GLAD TO SAY, SUCH A SITUATION CAN NOT BE FORESEEN TODAY.

(3)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡せられたい。

12

大臣官邸外務省

電信写

事務次官
官官審審長長
秘書文会管給
総人電厚計
国資長領移長
参調析企
参領旅移

総番号(TA) 4062
69年9月13日00時05分 米 国 省 署 長
69年9月13日13時11分 本 省 署 長

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣、國務長官会談 (核)

第2864号 (特秘) 大至急
往第2857号別紙4

NUCLEAR PROBLEM
(COMMUNIQUE)

7. THE PRIME MINISTER DESCRIBED IN DETAIL THE PARTICULAR SENTIMENT OF THE JAPANESE PEOPLE AGAINST NUCLEAR WEAPONS AND THE POLICY OF THE JAPANESE GOVERNMENT REFLECTING SUCH SENTIMENT. THE PRESIDENT ASSURED THE PRIME MINISTER OF THE INTENTION OF THE U.S. GOVERNMENT TO ENSURE, WITHOUT PREJUDICE TO ITS POSITION WITH RESPECT TO THE PRIOR CONSULTATION SYSTEM UNDER THE TREATY OF MUTUAL COOPERATION AND SECURITY, THE REVERSION OF OKINAWA TO BE CARRIED OUT IN A MANNER CONSISTENT WITH THE POLICY OF THE JAPANESE GOVERNMENT AS DESCRIBED BY THE PRIME MINISTER.

(3)

了 参地中東
長 北東西
参 北北保
中南番
歐 参一
長 参西東洋
西東
了 参審近了
長 次總経国万
長 参貢統 国
経 参政技二
協 国一理
長 参条協規
長 参政経科
国 軍社専
長 参道内外
情 一
文 二
長

特

特秘扱

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大蔵省外務官
事務 典房
次官審判長
長官審判長
長官文書長
長官文書長
総人電厚計
国債長
国債長
国債長
参調析企
参領旅移

総番号(T.A) 40611
69年9月12日23時20分 米 国 発 主 管
69年9月13日12時22分 本 省 着 秘
外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・國務長官会談(プレス説明ぶり)

第2865号 大至急 (特秘扱)

往電第2857号別電5

対プレス説明ぶり

(ワシントンにおいて 1969年9月

12日)

1. 外務大臣ステートメント

アイチ外務大臣とロジャース國務長官との間の本日の会談の結果は次のとおり。

(1) サトウ総理のニクソン大統領訪問は11月/9日から21日までと決定された。

(2) オキナワ返かんについての日米両国政府間のこれまでの交渉を通じていえることは、いまだ若干の主要問題について見解の相違があるが、サトウ・ニクソン会談後の共同声明にもあるべき返かん時期及び返かん後の在オキナワ米軍基地の態様に関する合意達成が可能となる様き道が示されたといえよう。

2. 質問応答要領

ア 参地中東
長 北 西
参北北保
中南洋
参西京洋
西東
近ア参参近ア
長 次総経国万
参参参参
参政技二
国一理
参参参参
参政経科
参社専
参遣内外
一一

外務省

特

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(1) オキナワ返かん問題は1つのパッケージとして解決する考えである。

(2) 交渉の進展ぶりは極めて満足すべきものであるが、先刻申しあげたとおり若干の主要問題について未だ見解の相違がある。

(3) 両国政府は、サトウ総理及びニクソン大統領の最終的承認を得られるようにするため、今後2カ月間外交チャネルを通じての交渉に専念する。

(了)

— 2 —

外務省

SECRET

(Washington, September 12, 1969)

Korea

(Prime Minister's Statement)

Therefore, should an occasion arise for the U.S. forces in such an eventuality to use facilities and areas in Japan as bases for military combat operations to meet the armed attack, the policy of the Japanese Government towards prior consultation would be to decide its position positively and promptly on the basis of the foregoing recognition.

SECRET

(Washington, September 12, 1969)

Taiwan

A. (Communique)

2. by honoring its defense treaty obligations in the area. The Prime Minister agreed that the U.S. should be in a position to discharge effectively its international obligations for the defense of countries in the Far East including Japan. (c.f. U.S. proposals of September 11, 1969).

B. (Prime Minister's Statement)

The maintenance of peace and security in the Taiwan area is also an important factor for the security of Japan. I believe in this regard that the determination of the United States to uphold her treaty commitments to the Republic of China should be fully appreciated. Should a situation ever occur in which these treaty commitments would actually have to be invoked against an armed attack from outside, it would be a threat to the peace and security of the Far East including Japan. Therefore, in view of our national interest, we should deal with the situation on the basis of the foregoing recognition, in connection with the fulfillment by the U.S. of its defense obligations. However, I am glad to say, such a situation cannot be foreseen today.

S E C R E T

(Washington, September 12, 1969)

Viet-Nam

1. (Prime Minister's Statement)

Although it is a hypothetical question related to the future, it is my belief that, should hostilities unfortunately not have been concluded by the time reversion of Okinawa, is scheduled to take place, U.S. military activities relating to the conflict should not be affected by reversion, as the two Governments would consult fully on the implications of a prolongation of the war.

2. (President's Statement)

Even in the unfortunate event of a prolongation of the conflict in Vietnam, the reversion of Okinawa agreed upon between our two countries with the necessary legislative support would not be affected, since there are fully adequate provisions for consultation between the two Governments on the implications of such a prolongation of the war.

3. (Communique)

The Prime Minister and the President expressed the hope that the war in Viet-Nam will be concluded before the return of administrative rights in Okinawa as mentioned in 5 below.

SECRET

(Washington, September 12, 1969)

Nuclear problem

(Communique)

7. The Prime Minister described in detail the particular sentiment of the Japanese people against nuclear weapons and the policy of the Japanese Government reflecting such sentiment. The President assured the Prime Minister of the intention of the U.S. Government to ensure, without prejudice to its position with respect to the prior consultation system under the Treaty of Mutual Cooperation and Security, the reversion of Okinawa to be carried out in a manner consistent with the policy of the Japanese Government as described by the Prime Minister.

CONFIDENTIAL

Guidelines for Press Handling

(Washington, September 12, 1969)

1. Statement by Foreign Minister.

The results of today's talks between Minister for Foreign Affairs Aichi and Secretary of State Rogers are as follows:

(1) It has been decided that the visit of Prime Minister Sato to President Nixon shall take place from November 19th through 21st.

(2) Following discussions between the two Governments on the reversion of Okinawa, *though there are still differences of views with regard to some key issue* it could now be said that the groundwork

has been laid ~~with the exception of a few points~~ for possible agreement concerning the time of reversion as well as the post-reversion status of U.S. bases in Okinawa, to be embodied in the Joint Communique following the Sato-Nixon talks mentioned above.

2. Response to Press Questions:

(1) We intend to solve the problem as one whole package.

(2) Progress of the discussions have been quite encouraging, but there are still differences of views with regard to ~~a few issues~~, as mentioned earlier. *some key*

(3) In order for both sides to obtain the approval of the Prime Minister and the President, the following two months will be devoted to discussions through the diplomatic channel.

秘

対プレス説明ぶり

(於ワシントン 1969年9月12日)

1. 外務大臣ステートメント

愛知外務大臣とロジャース國務長官との間の本日の会談の結果は次のとおり。

- (1) 佐藤総理のニクソン大統領訪問は11月19日から21日までと決定された。
- (2) 沖縄返還についての日米両国政府間のこれまでの交渉を通じていえることは、いまだ若干の主要問題について見解の相違があるが、佐藤・ニクソン会談後の共同声明にもらるべき返還時期及び返還後の在沖縄米軍基地の態様に関する合意達成が可能となる様軌道がしかれたといえよう。

2. 質問応答要領

- (1) 沖縄返還問題は1つのパッケージとして解決する考えである。
- (2) 交渉の進展振りは極めて満足すべきものであるが、先刻申しあげたとおり若干の主要問題について未だ見解の相違がある。
- (3) 両国政府は、佐藤総理及びニクソン大統領の最終的承認を得られるようにするため、今後2カ月間外交チャネルを通じての交渉に専念する。